（1962年3月7日 第3種郵便物認可）西鉄組合新聞　（毎月1日発行）

Nishitetsu Kumiai Press

2021.12.1　Vol.1722　12月号

西鉄組合新聞

【発　行　所】福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931　西日本鉄道労働組合
【編集発行者】川瀬 直之
定価 1部 30円 送料共（この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。）
西鉄労組ホームページ（http://nnr-u.org）▶

1面　21秋闘妥結収拾
1面　決算労使協議会（第2四半期決算）
1面　第45回中央労働学校
2面　森屋隆参議院議員NEWS
2面　第1回ユニオンスクール
2面　分会トピックス（自動車事務・桧原・高速）

第2回中央委員会

■開催日：11月30日（火）
■場　所：組合本部

21秋闘妥結収拾を決定

11月30日、組合本部で、第2回中央委員会を開催。中央委員・特別中央委員ほか約60名が出席し、すべての議案を原案どおり満場一致で決定した。

「従業員食堂の廃止」の審議では、会社提案内容について、有森中央委員（アイランドシティ）・上田中央委員（片江）・池田中央委員（那珂川）から質問が出され、「2021年秋闘妥結収拾」の審議では、特例勤務に関する会社回答について、宗中央委員（国物中央）から質問が出された。

また、中央委員会の冒頭には、準組織内議員の「佐々木徹」福岡県議会議員と、立憲民主党福岡1区総支部長「坪田晋」氏より挨拶があった。坪田氏は、これまでの支援に謝意を示すとともに、「議席を奪還し、働く皆様の声を国政に届けられるよう今後も頑張っていく」と力強く決意を述べた。

▲挨拶を述べる「坪田晋」氏

※決議内容の詳細は「かべ新聞第2号」参照（分会掲示板、イントラネットの西鉄労組掲示板に掲載）

21秋闘妥結収拾

一部継続協議も 出産・子育ての諸制度拡充

21秋闘の回答期限であった11月22日(月)、組合は、西鉄本社で、第5回労使交渉に臨み、18時に会社からの回答書を受諾。30日(火)の第2回中央委員会で、妥結収拾を決定した。

▲労使交渉（左が組合側）

21秋闘で、組合は、組合員の皆様の協力で確立した高率のストライキ権（91・9％）を背景に、たたかいをすすめた。会社回答は、組合要求の一部を継続協議とするものであり、決して満足できるものではないが、概ね組合の要求に理解を示しており、一定の回答を引き出せたと判断。とくに、出産・子育てに関する諸制度については、改定・新設がおこなわれることとなり、これまで以上に、仕事と出産・育児を両立しやすい環境整備ができた。

◆高率のストライキ権確立など、職場から力強く後押しをしてくださった組合員の皆様に、心から感謝申し上げます。妥結内容の詳細については、「かべ新聞第2号」参照

決算労使協議会

■開催日：11月10日（水）
■場　所：西鉄グランドホテル

組合員の弛まぬ努力で黒字転換 冬期賞与の取扱い決定

11月10日、西鉄グランドホテルで、決算労使協議会を開催し、組合は、2021年度第2四半期決算について、会社から説明を受けた。第2四半期の連結業績は、売上にあたる営業収益が1,877億円、営業利益が4億円、経常利益が6億円、四半期純利益が100万円の黒字となった。コロナ禍でも懸命に生産に協力した組合員の努力はもちろんのこと、国際物流事業における輸出入取扱高の増加や、住宅事業での分譲マンション販売戸数の増加、感染症の影響からの回復などが寄与した。

なお、個別業績の経常利益が、業績連動賞与の支給水準を下回っていたため、国際物流事業本部以外の2021年度冬期賞与に関する取扱いについては、11月11日から16日にかけて労使協議をおこなった。ゼロベースからの大変厳しい協議となったが、最終的には一定程度の支給水準を確保することができた。

※労使協議の詳細は「かべ新聞第2号」参照

▲決算労使協議会（右が組合側）

連結業績（単位:百万円）	2021年度 第2四半期	2020年度 第2四半期	増減額
営業収益	187,727	151,205	+36,522
営業利益	374	▲11,214	+11,588
経常利益	605	▲13,218	+13,823
四半期純利益	1	▲10,969	+10,970

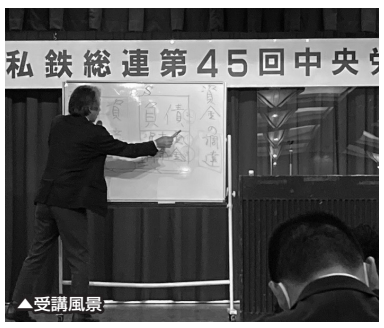
第45回中央労働学校

■開催日：11月10日（水）～12日（金）
■場　所：静岡県伊東市

組合活動に必要な知識を習得

私鉄総連は、11月10日から12日にかけて、静岡県伊東市で「第45回中央労働学校」を開催し、全国から28単組約70名が受講。西鉄労組からは、池田分会長（那珂川）・信國分会長（筑紫乗務）・松田女性委員（那珂川）の3名が参加した。参加者は、約3時間にも及ぶ講座を5講座受講し、今後の組合活動に必要な知識を深めるとともに、他労組の参加者と意見交換をおこない交流を深めた。

◆第1講座
「私鉄産別運動の強化」
私鉄総連労働学校長
小松俊裕氏



▲受講風景

◆第2講座
「持続可能な交通運輸産業の確立に向けて」
交運労協議長
住野敏彦氏

◆第3講座
「いま労働組合の政治活動に求められることは組合員自身の政治に対する『当事者感』の醸成」
仕事と暮らしの研究所
水嶋清光氏

◆第4講座
「私鉄労働者のための経営分析」
明治大学大学院教授
山口不二夫氏

◆第5講座
「労働基準法の基礎」
労働法学者
松岡二郎氏

中央労働学校に参加して

とくに労働基準法の講座が印象に残る

那珂川分会長
池田 幸一

初めて参加する労働学校では、色々な方向性から学ぶ5講座がありました。どれも大切で必要な講座ばかりでした。その中でもとくに、労使交渉において絶対に必要とされる労働基準法についての講座が印象深かったです。基本となる労働基準法はもちろんのこと、労働協約や就業規則を熟知することで、組合員の代表として交渉ができると確信しました。これから少しずつスキルアップして学んだことを活かし、職場環境の改善、雇用と生活の確保といった、労働組合としての役割を果たしていきたいと思います。

選挙前だけでなく定期的な政治活動が大事

筑紫乗務分会長
信國 晃平

講座を受講して、労働組合や私鉄総連の産別運動の歴史を知ることができました。政治活動についての講座では、組織内国会議員を送り出した今が大事な時だと強く言われていたのが印象的でした。選挙前だけの政治活動ではなくて、常日頃からみなさんに興味を持ってもらえるような活動報告の掲示の仕方や、定期的な学習会が大事だと改めて感じました。この3日間で学んだことを今後の組合活動に活かしていきます。

交流で、女性が活動することの意義を実感

女性委員
松田 玲子

労働組合と政治活動の講座では、衆院選の選挙結果を受けて、これからの課題についての話があり、政治家の仕事の見える化の必要性とその方法、組織内議員の重要性の伝え方を学ぶことができました。相手に納得して共感してもらうことが大事という言葉が印象に残りました。また、他労組の参加者との交流で、女性としての意見を求められることもあり、女性が活動することの意義を感じることができました。この経験を今後の組合活動に活かし、次の世代に伝えていければと思います。

組合本部 12月スケジュール

◆　8日（水）…事務局会議・医療共済幹事会
◆17日（金）…執行委員会
◆21日（火）…中央委員会
◆22日（水）…医療共済幹事会

※急遽変更となる場合があります。
※組合本部事務所は12/29（水）～1/3（月）閉室します。

私鉄総連組織内議員「森屋隆」参議院議員NEWS

公共交通のあり方、労働問題をより広い視点で

10月末におこなわれた衆議院議員選挙を受け、11月10日、第206回特別国会が招集されました。森屋隆は、今国会より参議院①厚生労働委員会、②予算委員会、③政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会、④資源エネルギー調査会、の所属となりました。

コロナ禍にあって最注目の厚労委員会の所属となり、大きな責任に身が引き締まる思いです。また、国会の花形と言われ、激しい議論が展開される予算委員会は、文字通り「予算にかかわる事柄」は何でも質問できる委員会です。これまで以上に公共交通のあり方や労働問題に係わる課題を、より広い視点から議論していきます。

コロナ禍の影響はまったなしです。短い国会ですが、私たちは「コロナ特別給付金法案」などの議員立法を提出します。

※森屋隆News（2021・11・11）より抜粋

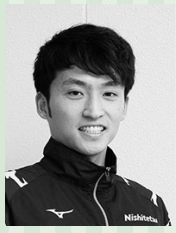
祝 ニューイヤー駅伝出場権獲得！

西鉄陸上競技部は、11月3日におこなわれた九州実業団毎日駅伝において、過去最高タイムとなる3時間55分59秒の7位でゴール。来年元日に開催される全日本実業団対抗駅伝（ニューイヤー駅伝）の出場権を2年ぶりに獲得した。10月に組合が実施した陸上競技部壮行会において、有隅監督が「昨年よりも良い状態で大会に臨める」と力強いメッセージを残していたが、それを体現した。

元日は、同じ仲間の組合員である陸上競技部をテレビで応援しよう！

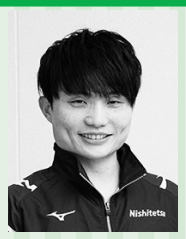
◆有隅監督

毎日駅伝走者

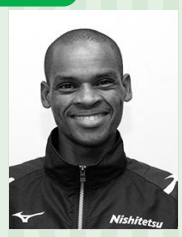


◆5区：東選手（区間10位）

◆4区：河東選手（区間6位）

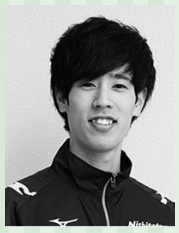


◆3区：甲斐選手（区間7位）



◆2区：ダニエル選手（区間4位）

◆1区：大保選手（区間8位）



◆7区：久保選手（区間7位）

◆6区：山口選手（区間6位）

列島クリーンキャンペーン

中洲地区の清掃活動に参加

11月6日(土)、自動車部門の分会長を中心に、連合福岡・福岡地域協議会の列島クリーンキャンペーンに参加。福岡市博多区冷泉公園周辺・中洲地区で、ゴミ収集などの清掃・美化活動をおこなった。準組織内議員の「佐々木徹」福岡県議会議員や、立憲民主党福岡1区総支部長の「坪田晋」氏も参加し、正午前まで、分会長らと汗を流した。

第1回 ユニオンスクール

■開催日：11月30日(火)
■場　所：組合本部

組合員の可処分所得向上へ共済推進

▲宮越肇講師

11月30日、組合本部で、第1回ユニオンスクールを開催し、中央委員・特別中央委員ほか、約60名が出席した。今回は、第1回福祉活動推進セミナーとして、ファイナンシャルプランナーの宮越肇氏より、「労働組合役員が共済を推進する理由に迫る！」というテーマで講演を受けた。

宮越氏は、西鉄労組組合員が一律加入している、全労済の団体生命共済と生命保険会社の団体保険とを比較し、「団体生命共済は、健康状態にかかわらず加入できるうえに、医療保障にも加入できる。民間の保険ではありえない」と、手ごろな掛金で必要十分な保障を受けられる団体生命共済のメリットを解説。また、「共済制度を推進することが、組合員の可処分所得向上につながるとともに、結果的に組合の組織強化にもつながる」と、共済制度を推進する必要性を訴えた。

▲受講風景

第62回 家族会定期大会

■開催日：11月12日(金)
■場所：ソラリア西鉄ホテル

今年度こそ家族が触れ合える活動を

家族会は、11月12日(金)、ソラリア西鉄ホテルで「第62回定期大会」を開催し、約40名が出席した。冒頭、山野中央幹事長(柏原)より、「今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響で、学習会や交流会などを中止し、活動ができていない。今後の実りある活動のために、皆様からご意見をいただきたい」と挨拶があった。続いて、古賀執行委員長が労組代表挨拶。来賓の福岡県議会議員「佐々木徹」氏と立憲民主党福岡1区総支部長「坪田晋」氏からも挨拶をいただいた。また、参議院議員「森屋隆」氏からのお祝いのメッセージも披露された。

議事では、2021年度ふれあい交流会の福岡開催などを掲げた「2021年度活動方針」が満場一致で審議決定された。今年度も家族会は、家族のライフスタイルの変化や感染症防止に対応できるよう企画を立案し、活動をおこない、家族相互の親睦交流をはかっていく。

【家族会担当】

▲大会風景

分会トピックス

全労済の推進活動を展開

自動車事務分会

自動車事務分会では、全労済オルグについて、コロナの影響によってセンタービル内での実施は中止を余儀なくされました。今回、自動車事務分会においては、組合員との面談にあたって、マスクの着用およびアルコール消毒をおこないながら、分会長自ら全労済の保障内容の説明、そして新規加入を促進し、組合員とのコミュニケーションを図りながらの推進活動を展開しました。

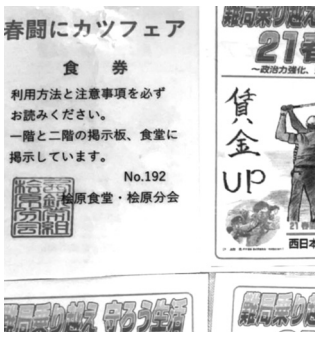
【分会長　武野義亮】

食事環境改善の活動、積極的に

桧原分会

桧原分会では、食堂でのコミュニケーションづくりの一環として、様々な取り組みをおこなっています。昨年度は新型コロナウイルスの影響により、春闘駅伝などのイベントが中止となり、盛り上がりに欠けるものとなりました。そこで、桧原食堂春闘カツカレーを組合員さんに振る舞ったことで、皆さんに喜んでもらったうえに売り上げ向上にも成功しました。さらに現在では、組合員さんの利便性向上のために、給料引き去りを実施しています。最初は上手くいかないこともありましたが、今では多数の方に利用していただいております。これからも新しい取り組みを考え、組合員さんが利用しやすい施設の環境整備のための活動ができればと思っています。

【教宣部長　藤井健太】



仕事量を平均化 コロナ禍輪番作成

高速分会

高速分会では、新型コロナウイルス感染症の影響による高速路線の運休、減便によって、組合員さんの仕事が激減しました。対応策として仕事量が平均化するように、早急なコロナ禍輪番の作成をおこないました。また、お客様に安全・快適にご乗車いただくために迂回教習を企画し、実行してまいりました。コロナ禍が収束するまで、引き続き、組合員さんの雇用を守る取り組みをすすめていきます。

【教宣部長　吉田正朋】